

一字書課題 (6月22日締切)

- (1) 書体自由
- (2) 半紙タテ
- (3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4) 出品料 四四〇円
- (5) バーコード券の余白に「一字書」と記入

参

条幅随意参考

鴻嘉二年五月以来

※抜粋可。条幅は一枚目無料、二枚目から五五〇円。半紙随意部(無料)にも出せます。条幅部に出品する場合はバーコード券余白に「条幅」と記入。



『額済納居延前漢簽牌』(二玄社)

高橋香樹会長担当 半紙臨書課題

(6月22日締切) 出品料440円



木簡(漢代)

第三回
1、字句 収失隧

- 2、形式 半紙タテ使用。中央に臨書し、左余白に落款「〇〇臨」と調和を工夫し書き入れる。
- 3、概観 前回、木簡は篆隸楷行草あらゆる書体があると書いたが、時代を考えれば隸書が多いことは否定できない。その隸書は、篆書が移行してきたものである。篆書で最後の姿は小篆であるが、小篆は、全て縦長に書かれている。これが隸書になると、縦の線は抑制され、横に引く線が誇張されている。即ち隸書では、篆書に比べると扁平になる。なぜ扁平になったかというと、早く書くということではないかと考える。篆書の縦画は時間がかかるが、隸書の横画は早く書くことができる。実用にそぐわない篆書から、使用しやすいように移行したのかと思う。そのことを考えれば波磔は、その延長線上と考えることができると同時に、横画が大体水平であることも特徴である。
- 4、各字のポイント

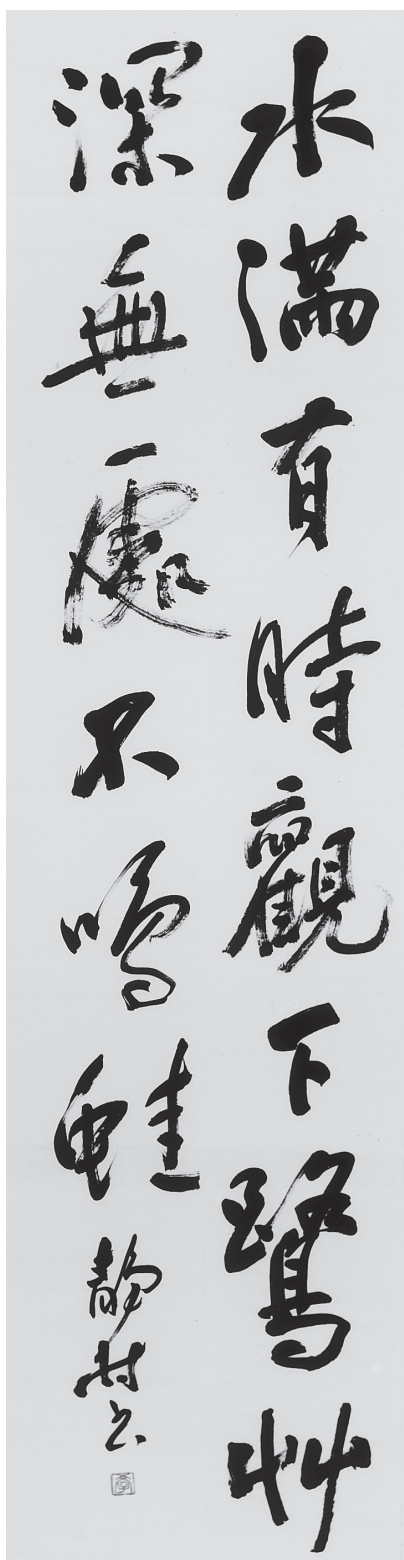
収 二画目の縦画は収筆を左横へ。旁の一画目は短く、収筆の払い美しく、伸びやか。
失 一画目と三画目は短く、四画目の横画は、覆勢にして細く美しい。
隧 偏は一画目長めに、縦画は短くやや太めに。旁は筆画を左払いにし、緊密にしている。右払いで上手くバランスを取っている。

条幅部漢字課題参考

(六月二十二日締切)

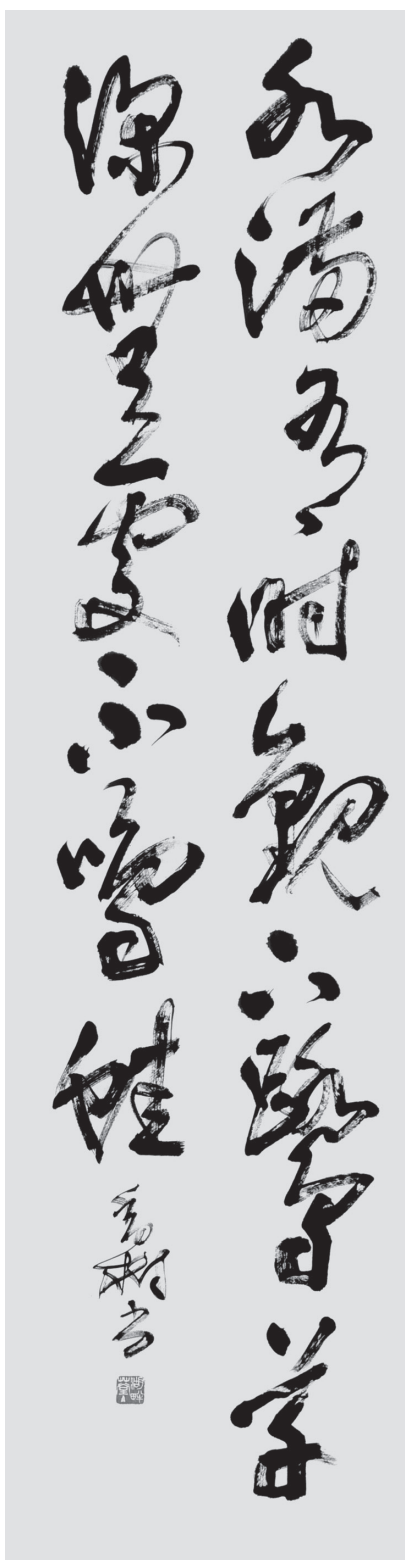
A 鈴木静村先生書

水滴有時觀下鷺 草深無處不鳴蛙 (陸游)
水滴ちて時に鷺の下るを觀るあり、草深うして處として蛙の鳴かざるなし。



B 高橋香樹会長書

画の付け離し 一字の構成の中で、一か所・一部分でよい「離し」の手法を導入することです。最も一般的なのは、有の「月」二画目、觀の「見」二画目、鷺の二画目等の離しです。離すことにより、空氣が通い、硬さが解れ、全体柔な氣分が漂います。水 二画目を一画縦画から離す。深 旁二画目、處 四画目離し、不 三画目の接筆は不可、蛙 旁の末画は離すと明るくなる。



今回は草書による作としました。草書で連綿線多用したいと思いましたが、思うようにいきませんでした。また、「鳥」を含む文字が二字ありませんが、これも変化させることが困難でした。墨継ぎは、「下」と「不」。

訳：水かさが増えると、ときどき鷺が舞い降り、草が茂ってあちこちで蛙が鳴く。

予告 (七月二十二日締切)

年年歳歳花相以 (劉庭芝)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

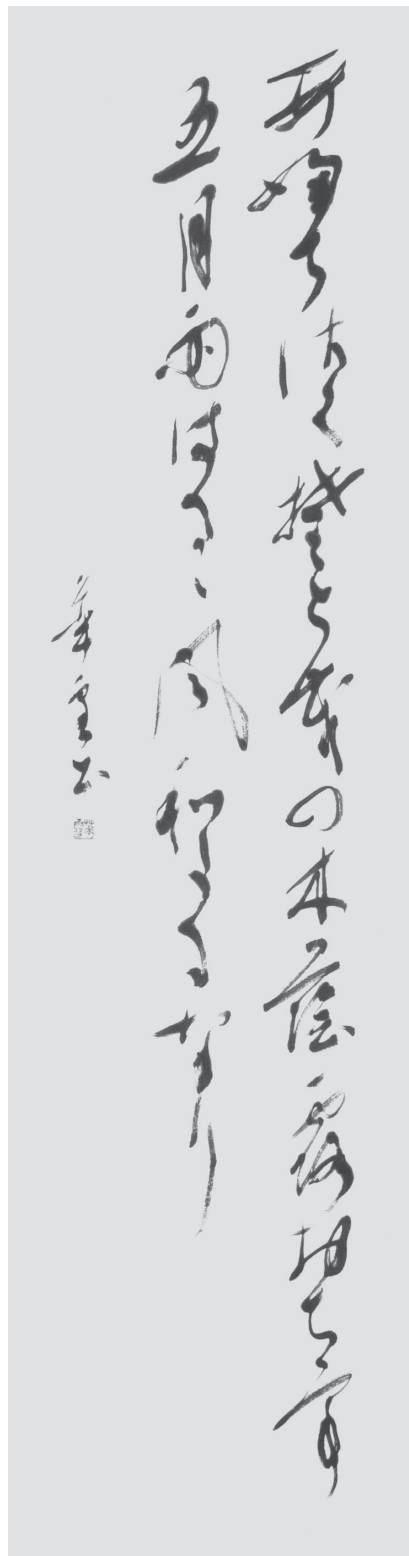
条幅部かな課題参考

(六月二十二日締切)

A

平岡華雪先生書

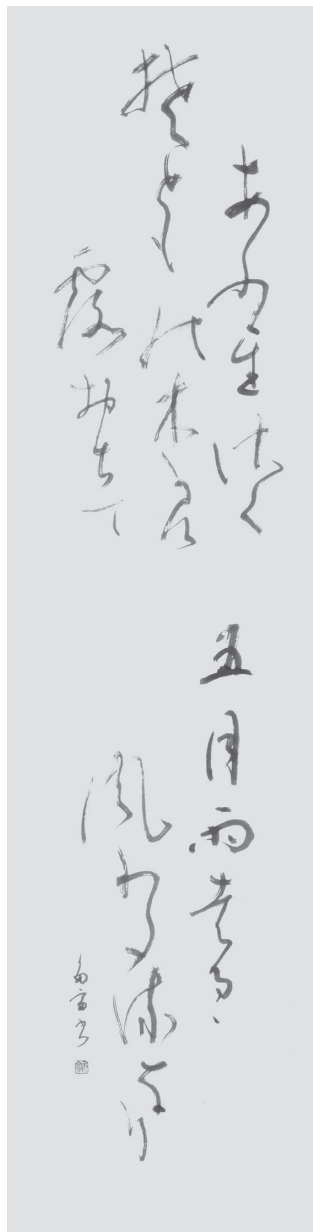
あふちさくそもの木かげ露をちて五月雨はるゝ風わたるなり (新古今和歌集 前大納言忠良)
あふち佐久楚と茂の木蔭露おち亭五月雨はるゝ風和多るなり



B

森多富先生書

あふ遅佐久楚とも能木可介露おちて五月雨者るゝ風万多流奈り



学び方

五月雨の上がった後、あふち(せんだん)の花が咲いている後庭の木陰に雨の雫が滴り落ち、薫風が吹き渡る景が詠まれています。

今回は、上下二つに分けた散らしにしました。墨は青墨、筆は稍長峰、画仙紙の組み合わせです。

上部は三行、下部は二行書きで納め、上下の流れが自然に繋がるよう留意しました。運筆の遅速や潤濁で、変化が出せればと取り組みました。

予告 (七月二十二日締切)

かくとだにえやはいぶきのさしも草さしも知らじな燃ゆる思ひを (藤原実方朝臣 百人一首)

前大納言忠良は、平安時代から鎌倉時代の公卿、歌人。

新古今和歌集は、土御門天皇の時代に撰集された勅撰集。勅撰集の歴史からいえば、古今集からはじまり、後撰集、拾遺集、後拾遺集、金葉集、詞花集、千載集を経て、八番目に撰ばれたもので、いわゆる八代集のしんがりをなすものである。

和歌の総数は八代集の中で最も多く、千九百七十九首ほどであったようである。

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

条幅部随意参考（創作部門最優秀作品）

蒼穹

奥山翠月

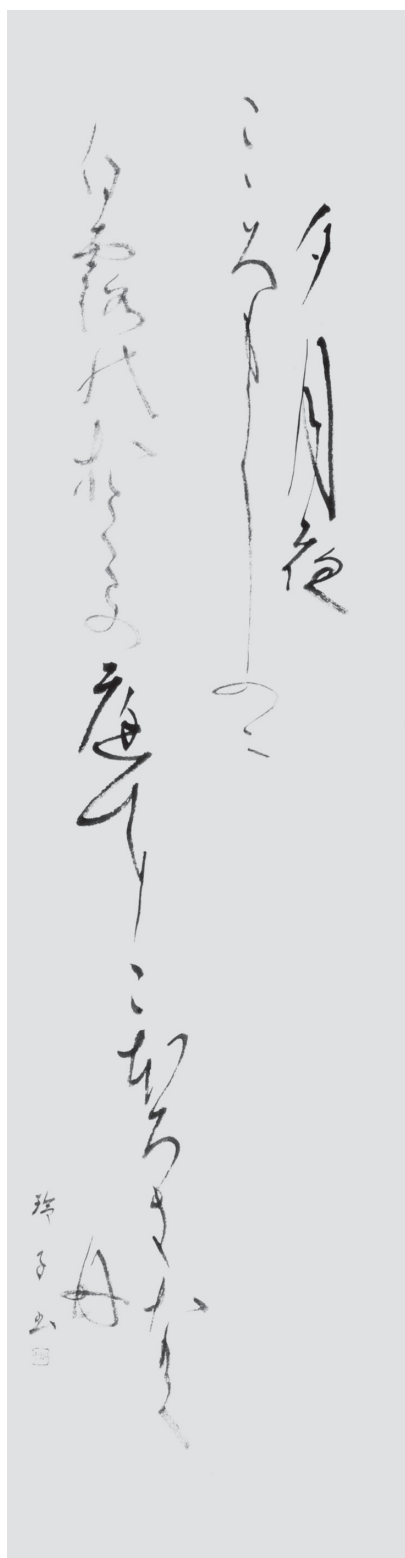
東西南北



中部

戸塚玲子

夕月夜心^{ゆふげくよこころ}もしの白露^{しらつゆ}のおくこの庭^{には}にこほろぎ鳴^なくも（万葉集 湯原王^{ゆはらの おほきみ}）
夕月夜こころもしの二白露^に能^の於^の久^くこの庭^{には}にこほろぎ支^さなくも



歌意：夕月の出ている夜に、心もしつとりと白露のおりているこの庭に、こほろぎが鳴いている。

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料550円）
- ※創作部門最優秀作品は随意部参考手本として掲載します。

平岡華雪先生書

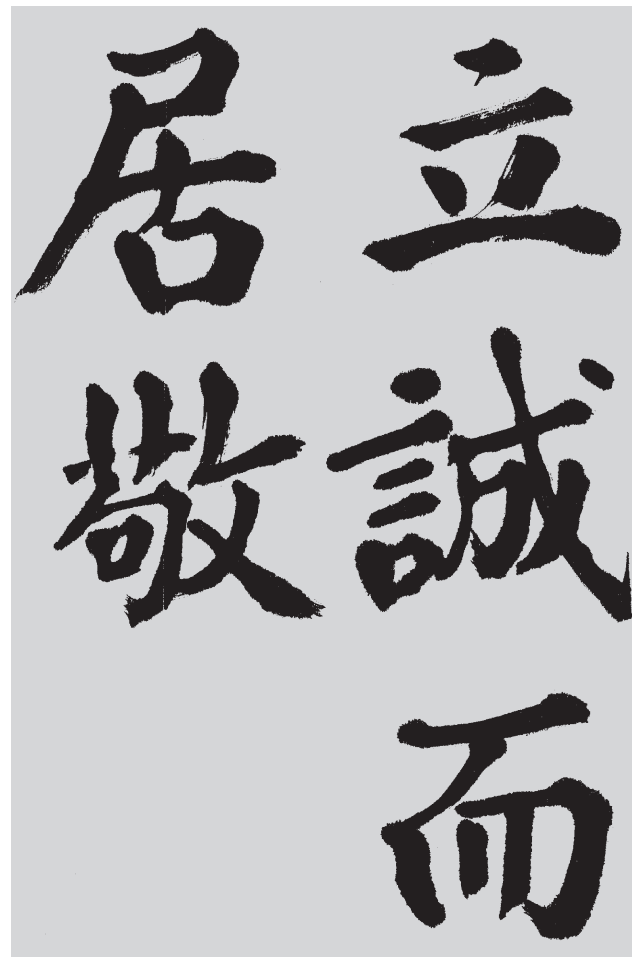
誠を立てて敬に居る（張南軒）
 訳：至誠を立てとおすには、何としても敬の地位に居らねばならぬ。

〈中心的文字〉

紙面中央に画数の多い文字を配した構成。特に「誠」は戈法、「敬」は末画を主画。この二文字の出来、不出来はこの一作に影響が大きい。



漢字部課題参考（六月二十二日締切）



（七月二十一日締切）

游魚動緑荷（陸游）

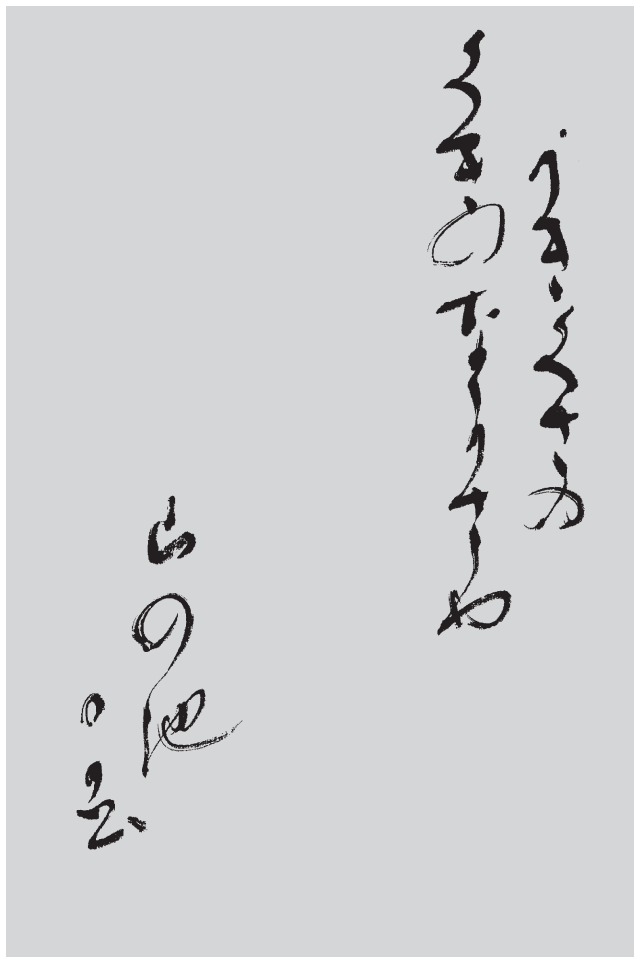
平岡華雪先生書

浮草の茎の長さや山の池（虚子）
 うき久さの久きのな可さや山の池

〈左右両群の調和〉

右群が全部かな文字。左群は漢字が主になる少字群で、中央に大きい余白。この調和をどうとっていくか、アクセントをどこに置くか。ただお手本通りに書くのではなく、問題意識をもって取り組んでほしい。

かな部課題参考（六月二十二日締切）



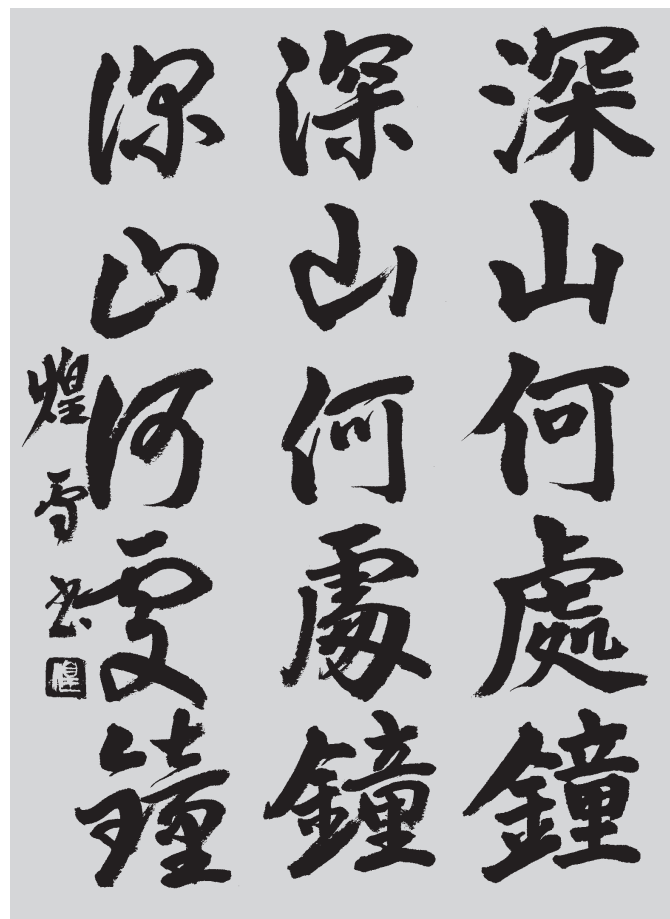
（七月二十一日締切）

初蟬に涼しく雨は晴にけり（梅郊）
 はつせみにすず あめはれ

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に①～④を記入し、作品左隅に貼付の上、出品して下さい。一般会員は無料、会員外出品料は460円。

①出品部門（例：「漢字部」「かな部」） ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

楷、行、草、三体課題参考 (六月二十二日締切)

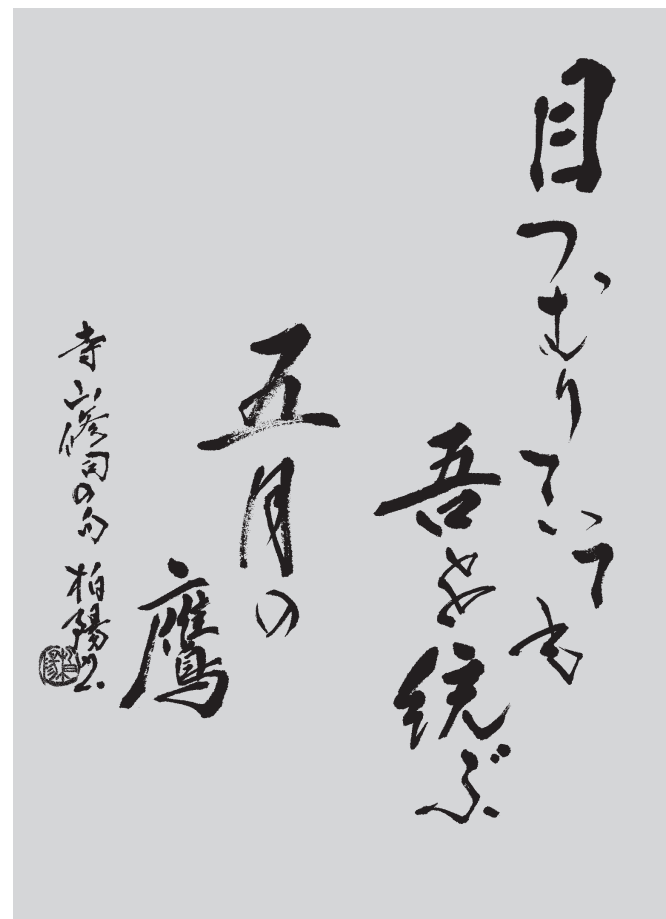


訳：その深山の奥で、どこからか、鐘の音が聞こえてくる。

星野煌雪先生書
深山何處鐘 (王維)
深山 何處の鐘ぞ

(1)随意部参考として出品してください。(2)会員外の出品料は460円。

漢字かな交じりの書課題参考 (六月二十二日締切)

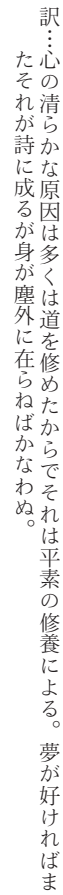


岩佐柏陽先生書
目つむりていても吾を統ぶ五月の鷹
〔われに五月を〕寺山修司

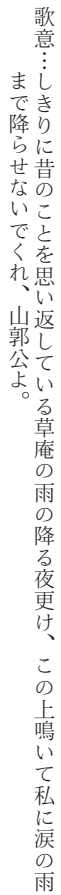
(1)出品料550円 (2)バーコード券余白に「漢か」と記入

(7)

心清多在道。夢好亦成詩。(施樞)
こころきよ おお みち あ ゆめよ またし な
心清き多く道に在り、夢好きも亦詩を成す。



雨そくはなたち花に風すぎて山郭公雲になくなり（新古今和歌集 皇太后大夫俊成）
雨そく久花たち者奈に風須きてやま本とく起寸久も二那久難り



一般部

硬筆部課題参考

(六月二十二日締切)

生駒紅泉先生書

稲畑曄穂先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)

ある時期から、私は理性や感性の
誠実な行使は、必ず平明な表現を
生むはずだと思うようになった。

難解な表現がそのまま内容の高度
深遠を意味するとは限らず、
平易な表現が内容の単純を示す
とも言いきれない。

課題1 (師範以下初段階以上)

難解な表現がそのまま内容の高度深遠を意味するとは限らないし、平易な表現が内容の単純を示すとも言いきれない。

『読書の歲月』 竹西寛子

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)。
- (4) はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位) 次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四六〇円

課題2 (初段階以下)

ある時期から、私は理性や感性の誠実な行使は、必ず平明な表現を生むはずだと思うようになった。

『読書の歲月』 竹西寛子